

楽しい絵手紙



雨近い縁で庭を眺めています。あじさいの花が咲き、ゼラニウムの花数が多くなりました。アマリリスの花の紅が続いています。又いろいろな花も私を楽しませてくれます。季節の变りの早さを驚き、老の身になった事も感じます。次の絵手紙教室で何を描くか考えるのも楽しみです。先生、お友達の皆様様有難うございます。八女の自然の美しさに元気を貰いつつ感謝いたします。



八女市本町 高田 紀代子

叙勲おめでとう



イスカンダール万亀子さん

春の叙勲でインドネシア、バリ在住のイスカンダール万亀子(中島)さんが、旭日双光章を受章された。彼女は、八女市(旧八女郡白木村合の原)の出身。1971年にインドネシアへ渡航、早稲田大学出身のご主人ラドムさんと観光会社を設立、特にバリの観光、文化のPRに努められているのでご存知の方も多いと思う。過去43年間、彼女の御苦勞の一端を知るものとして頭が下がる。彼女が特に力を注いだのは、在留邦人の子供が通う日本語補習授業、その建設のため土地を無償提供するなど果たした功績は大きい。私は、1985年から89年までインドネシアに駐在したが、その間、色々この国の情勢について彼女に教えて戴いた。当時は、TVもインドネシア語のみ、日本の新聞は3日遅れ、電話も申し込んで数時間後に繋がる等現在では考えられない状況であった。2001年6月には、筑後旅行センター下川社長さんのお世話で福島高校卒業生30名とバリ、ジョクジャカルタを旅行した。時々八女の銘茶をお送りしているが、訪問するお客さんに振舞われる八女茶が現地では評判になっているようだ。人口2億4千万人のインドネシアは、ヨーロッパとほぼ同じ面積、多種多様な民族と文化を有し近年特に成長著しい東南アジアの大国である。彼女の幼い頃の思い出は「両側から山が迫った山あいの道に沿って小さな川が流れているとてもどかな田舎の風景を忘れることはできません。みかんの季節になると、山一面黄色に変わるほどの蜜柑の豊作の白木村は懐かしい故郷です。」という。7月に行なわれる大統領選挙が今後5年間、この国の将来を左右するが親日的であることに変わりはない。5月15日、皇居で天皇陛下より親授式が行われたが、万亀子さんが、健康に留意し益々日本との親善に尽くされることを心から祈っている。

横浜市 黒木 久夫

健康万歳 ⑧

「検査《新》基準値」が生活習慣病を変えるのか

高血圧、高脂血症、高尿酸血症、糖尿病など生活習慣病の健康基準値の大幅な緩和が「人間ドック学会」から公表され波紋を呼んでいる。

以前は年齢プラス90を血圧の適正値と考えていたが、平成12年に年齢を問わず、上(収縮期血圧)が160、下(拡張期血圧)が95と決められ、いつの間にか今は上が130、下が85に改められている。

今度の《新基準値》では上が148までが正常となったので降圧剤を勧められていた人の2/3は薬も不必要になる。

健診や病院で計る血圧は大体10は高いと思つてよい(白衣性高血圧)。家庭で計る血圧の方がより正確な値が出るが、睡眠不足やストレスなどで変動が激

しいので毎日同じ条件で朝と晩2回計測し記録したが良い。その結果で常に基準値を上回る場合は医師に相談することが望ましい。

高脂血症の指標であるコレステロールや中性脂肪の値では3人に1人が注意を受けているが、これも今回基準値変更で緩和され、薬の必要もなくなった。特に高脂血症治療薬は肝臓機能障害や場合によっては重篤な副作用もあるので余程でない限り薬は飲まない方がよい。

血中尿酸値も大幅緩和された。痛風の原因になる恐れがあるので予防薬服用を勧められるが特に高い値でない限り無症状であればその必要はない。ビール愛好者も胸を撫で下ろす筈だ。

糖尿病検査(HbA1c)の値も緩和されたが、境界型と思われる糖尿病の場合には必ず専門医の指導をお勧めする。

私も健診に10年以上携わってきたが検査数値はすべて高いのに驚いていた。10人中6人が何らかの異常を指摘され、既に薬を飲んでいても多い。用心に越したことはないが病人を作ることが健診の目的でもなく、検査数値は飽くまで一応の目安である。

年齢や性別、個人差があるのは当たり前、生活習慣病は先ず日頃の生活習慣(食事・運動・飲酒・喫煙・ストレスなど)を改めるべきで、検査の結果ですぐ薬と結びつけるのは副作用もあり、極めて危険なことを知っておくべきだ。

林 榮一(医師・立花町)

熊本県家畜市場見学研修

八女農業高校

生物利用科では、県内の農業高校で唯一乳牛を飼育しており、生徒は搾乳実習等に励んでいます。4年前から動物バイオに取り組んでおり、今年1月に2頭の雌子牛を誕生させ、動物科学専攻の3年生が哺育やブラッシング実習で手塩にかけて育ててきました。その子牛を北部九州最大の熊本県家畜市場に4月に出荷しました。市場では血統の良さと日頃の手入れの良さが認められ、2頭で86万円の高値がつけました。一部の生徒はセリ後、大切に育ててきた思いもあり、別れを惜しんで涙を流していました。生徒たちにとって貴重な体験となった1日でした。



生物利用科3年動物科学専攻生

7月の八女農みらい館開館日 火曜・金曜

1日、4日、8日、11日、15、22日、25日、29日 販売時間は10時30分~15時30分です。(22・29日の販売時間は12時30分まで)

呟き

ようこそ

「へその緒は、私が自分で切りました」そんな嫁の告白に、私は言葉を失った。息子に初めての子が誕生する日、出産に立ち合った筈の私の息子ののだが、その歴史的瞬間に思わず怯んでしまったという。「それではお母さんが切りますか」と言われた嫁が潔く、スパッと切り離し、この世に生を受けた男の子。私達家族にとって初めての孫、五月晴れの空を一筋の飛行機雲が貫いていた。

母と子を繋ぐ唯一の連絡路、50センチ程のへその緒を解かれ人界へと生まれ落ちた、まだ何ものにもあらぬみどりご。ファイティングポーズを決めて勢いよく現れた。その小さな拳の中には、嵐が握られているに違いない。パパやママ、爺や婆を巻き込む大きな嵐が来る。湯気の出そうなこの生まれたての柔らかい、無防備な命のいとおしき。

「ようこそいらっしゃいましたね、この世界へ」私が呟くと、嫁の目から大粒の涙が溢れ出した。「よく頑張ったね、偉かった」と嫁を労うと、今度は息子が泣き出した。「頼りないパパだけどころしくね」と、夫がすでにじじの顔になっていた。人生最良の日だ。

俯瞰という言葉がある。私の子育ての時には出来なかつた、高い場所から全体を見るという行為。ばばは小高い丘の上から、しっかりとあなたを見守るよ。ようこそ、優斗。

蓉子